



北アフリカ地域ニュース

アルジェリア：ゲール公共事業大臣の訪日

(12月9日付国営APS通信)

1. ゲール公共事業大臣による日本への実務訪問(注：12月1-9日訪問)は、日本側との間で、特に公共事業分野における二国間協力の強化の可能性を明確化することができた。同大臣が日本訪問中に会談した冬柴国土交通大臣は、日本側としてインフラ分野を始めとする両国間の協力関係を一層強化し、また強化する用意があると表明した。
2. ゲール大臣は、現在東工区を日本企業グループが建設中である東西高速道路プロジェクトについて、品質に対する要求ならびに工期及び環境の尊重に重点を置きつつ、同プロジェクトの戦略的重要性を強調した。
3. 同大臣と日本外務省幹部との会談では、両者は二国間協力の展望の他に、2008年5月に予定されている TICAD 開催との関連でアフリカと日本の関係について協議した。この点に関してゲール大臣は、アルジェリアがアフリカ大陸と日本の間で果たしうる「架け橋としての役割」について述べた。
4. 同大臣と40人ほどの様々な分野の日本企業経営者との会合が開かれた。そこで同大臣は、特に公共事業、運輸、中小企業、中小製造業、建築、水資源、観光、農産物加工業などを包含する2009年から2025年までの基本計画に合致した、アルジェリアにおける投資の可能性について強調した。本会合に出席した日本側の経済関係者は、投資と提携を通じて、この幅広いプログラムの実現への参加に強い関心を示した。
5. 日本において高速道路、高架橋、トンネル、港を始めとする複数のサイトや現場を訪問した同大臣は、当該分野での高度な技術や日本の最先端を身近でよく調べることができた。

参考

12月4-5日、サルコジ・フランス大統領がアルジェリアを公式訪問し、ブーテフリカ大統領と会談した。同大統領訪問には、仏経済人150人が同行し、仏石油大手トタルなどが投資契約に調印した。また原子力平和利用協力など取り決めが結ばれた。アルジェリアの石油生産量は、世界の2.2%、天然ガス生産量は世界第3位(埋蔵量は世界7位)。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799